

伝統音楽の魅力を探る・レクチャーコンサート Vol.6

日時 平成22年12月15日(水) 午後6時30分(開場午後6時)

会場 京都府立文化芸術会館

京都市上京区河原町広小路下ル

☎075・222・1046

主催 京都和文華の会

共催 真如苑

協力 立命館大学アート・リサーチセンター

社団法人 京都デザイン協会

NPO法人 京都文化企画室

NPO法人 檜の会

申し込み方法 11月27日(土)までに往復はがき

による申し込み(入場無料)

※詳細は裏面を参照してください。

# ときわづぶし 常磐津節はおもしろい

出演者

浄瑠璃 常磐津 一佐太夫

常磐津 都代太夫

常磐津 三代太夫

三味線 常磐津 都長蔵

常磐津 都史

上調子 常磐津 三之祐

常磐津の魅力語る 常磐津 一巴太夫(人間国宝)

権藤 芳一(演劇評論家)

構成・解説

竹内 有一(京都市立芸術大学)

司会

南端 玲子

伝統音楽の魅力を探る・レクチャーコンサート Vol.6  
ときわづぶし  
**常磐津節はおもしろい**

常磐津節は、江戸歌舞伎とともに発展してきた浄瑠璃（三味線音楽）の流派のひとつです。

その特徴は、京都と江戸、両方の気風を取り込んでいることです。京都に生まれ、京都の浄瑠璃を身に付けた宮古路文字太夫が江戸にくだり、1747年（延享4）に「常磐津」という新しい名を江戸中村座に掲げたのが、その始まりです。18世紀初期に京阪で流行していた、情緒豊かな宮古路豊後掾の浄瑠璃をベースに、江戸風の豪放さと軽妙さが、文字太夫代々の独自の工夫で加味されてきました。こうした音楽表現の幅広さと柔軟性が、役者・作者・観客に喜ばれて、歌舞伎舞踊には欠かせない音楽となりました。

「所作事」とも呼ばれる歌舞伎舞踊は、人気役者によって新作が競って演じら

れ、老若男女とわず関心の的でした。それに相応しい音楽を作曲、演奏することが、常磐津連中の重要な仕事でした。そうした浄瑠璃や三味線を、繰り返し独り占めしたい、自分で演じてみたいと思うのは、今も変わらぬ人情といえましょう（携帯プレーヤー、カラオケ、ギターなど）。常磐津の稽古では、初演時に伴奏として演奏された浄瑠璃と三味線だけでなく、役者が語ったセリフも稽古してもらえる、このことが独自の魅力であり伝統でした。

こうした常磐津節のおもしろさを、人間国宝 常磐津一巴太夫師の貴重な芸談と、第一線で活躍されている常磐津都毘蔵氏ほかの実演で味わっていただきます。また、幕末の三味線弾きが著した「秘伝の書」をひもときながら、常磐津の構造や旋律の特色を探ります。

**出演者**

● 浄瑠璃



**常磐津 一佐太夫**（ときわづ かずさだゆう）

昭和二十六年、二代目常磐津理喜蔵（後の初代豊後半中）に入門。同年、初舞台。昭和五十三年、四代目常磐津文字兵衛（現英寿）に入門。昭和五十四年、常磐津一佐太夫を許される。



**常磐津 都代太夫**（ときわづ とよたゆう）

昭和四十九年、六歳にて常磐津都毘蔵に入門。昭和五十七年、家元より常磐津都代吉を許される。平成元年、常磐津都代太夫と改め浄瑠璃方となる。



**常磐津 三代太夫**（ときわづ みよたゆう）

三歳にて父（常磐津三都雄・現三蔵）に手ほどきを受ける。昭和五十二年、四才にて初舞台。平成元年、家元より常磐津三代太夫を許される。

● 三味線



**常磐津 都毘蔵**（ときわづ ときさだ）

四歳にて父（常磐津文之助）に手ほどきを受け、六歳にて初舞台。昭和三十年、家元より常磐津都毘蔵太夫を許される。昭和三十六年、常磐津都毘蔵と改め、三味線方となる。社団法人関西常磐津協会常務理事。



**常磐津 都史**（ときわづ とし）

昭和五十七年、三歳にて父（常磐津都毘蔵）に手ほどきを受け、同年初舞台。平成二年、家元より常磐津都史を許される。平成六年、歌舞伎公演初舞台。

上調子



**常磐津 三之祐**（ときわづ さんのすけ）

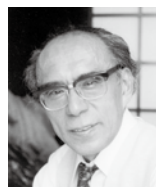
平成十三年、常磐津三蔵に師事。平成十四年、家元より常磐津三之祐を許される。同年、初舞台。

● 常磐津の魅力語る



**常磐津 一巴太夫**（人間国宝）（ときわづ いちはだゆう）

昭和二十三年、常磐津文字一郎に入門。昭和二十七年、常磐津一巴太夫を許される。京都府文化功労賞。滋賀県文化賞。大津市文化特別賞等。社団法人関西常磐津協会理事長。



**権藤 芳一**（ごんどう よしかず）

同志社大学文学部在学中より武智鉄二氏に師事し、のち、京都観世会館事務局長、大阪学院大学国際学部を経て現在は演劇評論等に幅広く活躍。著作に『近代歌舞伎劇評家論』『能楽手帳』等多数。京都和文華の会顧問。

● 構成・解説

**竹内 有一**（たけうち ゆういち）

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授。日本音楽史。三味線音楽やその周辺文化を軸に研究。学生時代に常磐津清若太夫に入門、常磐津若音太夫の名を許される。編著に『詞章本の世界—近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情』など。

**申し込み方法**

● 往復はがきでお申込みください

※応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。  
参加の可否は12月3日（金）頃までに返信はがきにてお知らせします。

締切 **11月27日（土）** 当日消印有効  
問合せ先：京都和文華の会 TEL 0774-43-7577

郵便往復はがき ①①①①①①①① 往信 京都和文華の会宛	宇治市大久保町 上ノ山51-35	（何も書かなくてOKです）	郵便往復はがき □□□□□□ 返信 氏名 本人の住所 様	1、住所（郵便番号） 2、氏名 3、電話番号 4、希望人員 （2名様まで）
---------------------------------------	---------------------	---------------	---	---

〈表〉

〈裏〉

**アクセス**

京都府立文化芸術会館 京都市上京区河原町通広小路下ル ☎075-222-1046



**市バス路線**

いずれのバスも「府立医大病院前」下車すぐ

- 京都駅（乗り場A2）から 約30分 [4・17・205・快205]
- 四条河原町から 約10分 [3・4・17・205・快205]
- 三条京阪から 約10分 [37・59]
- 出町柳駅から 約10分 [3・4・17]

伝統音楽の魅力を探る

**レクチャーコンサートの放映**

「地歌はおもしろい」… 平成22年11月  
放送日/1日(18:00～)・7日(11:15～)・28日(12:30～) 他6回

「謡曲はおもしろい」… 平成22年12月予定  
※引き続き「琵琶楽はおもしろい」「文楽 義太夫節はおもしろい」が放送予定。

**CSスカパー！ 325ch 「歌舞伎チャンネル」**

※詳細は歌舞伎チャンネルホームページ（<http://www.kabuki-ch.co.jp>）参照  
※視聴等のお問い合わせは  
スカパー！カスタマーセンター ☎0570-039-888 又は 045-287-7777へ